



## キリストの聖体 (ルカ 9:11b-17)

聖体は父なる神から私たちに与えられる

キリストの聖体の祭日を迎えました。私たちに与えられる聖体の恵みはあふれるほど豊かです。どこからこの豊かな恵みが出ているのかを考え、私たちも神様の豊かな恵みにあずかる方法を考えてみることにしましょう。

田平教会出身の山内啓輔神父様がイタリアに留学することになり、私たち田平教会の信徒で元気づけて、送り出しましょうということになりました。留学経験は本人だけのものですが、勉強した内容は将来長崎教区に、また日本の教会に戻ってきますので、収穫がたくさんあるようにお祈りし、気持ちよく送り出したいと思います。

中田神父は残念ながら留学の経験が無いので、山内神父様に偉そうなことは言えません。駅前留学すら、経験がありません。フィリピンに10日間研修に行ったことと、イスラエル巡礼に2度行ったことと、韓国のソウルに2度行ったこと、これが海外経験のすべてです。これから数年にわたって暮らす神父様の苦労は、並大抵ではないと思います。

ただいろんなことを考えたのではないだろうかと思案はします。たとえば、どうして私が留学しなさいと言われたのだろうか。どうしてこれこれの分野を勉強することになったのだろうか。どうして今年から留学することになったのだろうか。いろいろ思ったのではないのでしょうか。

実際は、それらに納得がいくような答えは与えられないかも知れません。納得のいくような答えは見つからないかも知れません。それでも私は、留学の機会が与えられたのだから行ってくるべきだと思うし、学んでくるようにと言われた分野に興味を持ってみるべきだと思っています。

最終的に、思い巡らすいろいろな疑問に答えを与えてくれるのは、やはりイエス・キリストだと思います。特に今週のキリストの聖体の祭日に与えられた福音朗読は、疑問に十分答えてくれると思っています。イエスが「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい。」(9・13)と投げかけたとき、弟子たちはとても自分たちにはその任務は負えないと思ったのです。

彼らの手元には「パン五つと魚二匹」しかありませんでした。弟子たちの持ち合わせが心細かったと言うよりも、彼らが考えるもとにしてきた根拠が頼りなかったのです。そこでイエスは、彼らのより頼む根拠から出発して、不思議な体験を積みかせてくれました。

イエスは、弟子たちが「根拠になり得ない」と考えたものを道具に用います。「イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。」(9・16)ただ五つのパンと二匹の魚は、いったん弟子たちの元を離れ、イエス・キリストの手によって御父に委ねられたのです。そして御父からイエスの手を通して返していただいたとき、五つのパンと二匹

の魚は「根拠になり得ないもの」から、「偉大な道具」に変わっていたのです。

山内啓輔神父様の留学を、私が計り知ることはできません。自分自身に当てはめて考えるとき、私が「なぜだろう」と考えたのは教区の広報委員長をするようにと任命書をもらったときでした。それまで広報委員会で委員に加わっておりましたが、委員長はちと荷が重い、なぜこうなったのだろうかと思い悩んだのです。

けれども答えは広報委員長任期中に巡ってきた 188 福者の列福式に関わったときに与えられたのです。すでに教区報の編集でアップアップだった私は、もはや自分の能力を超えている、もうこれ以上背負えないと思っていました。

けれども一日一日、自分で背負っていたものを下ろして神様にお委ねして床につき、次の日を迎えるといった繰り返しをしているうちに、「私が抱えてしまっただけは実を結ばなくても、いったん神様に手放して戻ってきたものを引き受けていると、大きな働きにつながるのかな」という実感が持てるようになりました。

今週与えられた福音朗読の中でも、弟子たちがよりどころにしていたものは悲しいくらいに貧弱なものだったのですが、それをイエス様が御父にお渡しすると、あっと驚くものになって返ってきたわけです。ここには御聖体の恵みが暗示されています。イエス・キリストが御自分を十字架の上で御父にお渡ししたことで、御父から私たち人類に返してもらったものは、計り知れない御聖体の恵みになったわけです。

誰しも、自分自身の能力や現状を考えると、「なぜ」と思えることがあるのは確かです。その疑問に答えてくれる鍵となるのは、よりどころにしているものをいったん神様に明け渡すということです。神様に明け渡して、そのあと返ってくるときには、答えも添えられて返ってくるのです。計り知れない恵みとなって、返ってくるのです。

留学する山内神父様は、たくさんの勉強をし、たくさんのものを見て、たくさんの人に巡り会うでしょう。長崎教区の為、日本の教会の為に豊かな実りを持ち帰って欲しいと思います。その鍵となるのは、留学期間のすべてを、いったん神様に明け渡して、それから受け取る。ここにあるのだと思います。